

県下の交通事故 (8月27日現在)

区分	事故件数	死者	傷者
58年	2,900件	83人	3,716人
59年	2,812件	66人	3,714人
比較	-3.0%	-20.5%	-0.1%



第65号

発行所

甲府市丸の内一丁目6-1  
財団法人山梨県交通安全協会  
TEL 甲府 (0552)37-7827

秋の全国交通安全運動

9月21日～9月30日

交通安全は家庭と職場と地域から



信号無視は大事を招く

秋の全国交通安全運動が、九月二十一日から三十日まで十日間、全国一斉に実施されます。本県では、総務庁交通対策本部で決定した運動の重点事項は次のとおりです。

①歩行者及び自転車利用者の交通事故防止②シートベルト着用による交通事故防止③飲酒運転の絶対禁止④飲酒運転の絶対禁止⑤飲酒運転の絶対禁止⑥飲酒運転の絶対禁止⑦飲酒運転の絶対禁止⑧飲酒運転の絶対禁止⑨飲酒運転の絶対禁止⑩飲酒運転の絶対禁止

六月末現在四十四人中三・三％の減少率となりましたが、五月から再び増加の傾向を示しています。交通安全運動の趣旨を周知徹底するとともに、運動への参加意識を高め、県民総ぐるみ運動を展開することとしています。

シートベルトの正しい着用を

県交本部がきめた運動の重点項目と、おもな実施事項は次のとおりです。

歩行者及び自転車利用者の交通事故防止

歩行者や自転車利用者が安心して通行できる道路環境の整備やとび出し、車の直前・直後の横断などによる事故を防止するために

- (1) 歩行者 街頭における歩行者と障害者の保護誘導活動の促進
- (2) 通学(園)路及び歩行者道路の安全確保
- (3) 学校周辺、住宅地域、商店街の安全な交通環境の確保
- (4) 身体障害者等の誘導用ブロック等の点検整備と障害物の排除
- (5) 高齢者の安全な交通行動実践の促進

- (1) 自転車の安全利用のための道路交差点の点検整備の促進
- (2) 自転車利用者に対する交通安全指導の促進
- (3) 地域別・学校別に「自転車」の正しい乗り方教室の開催
- (4) 自転車の反射器材等点検整備とTSMマークの貼付の促進
- (5) 交通安全教育
- (6) 家庭における交通安全の話し合いの実践
- (7) 子供と母親の交通安全教育の徹底
- (8) 高齢者の特性に応じた交通安全教育の徹底
- (9) 交通安全クラブ、交通安全安全会等の育成と組織化
- (10) 二輪車の交通安全啓発
- (11) 二輪車の安全利用の確保とくに交差点において、ルールに従った正しい乗り方とヘルメット着用を習慣づけるために
- (12) 身体に適合した車両の選定、点検整備の励行
- (13) 交差点における安全確保
- (14) ヘルメット着用と安全走行の徹底
- (15) 飲酒運転の絶対禁止
- (16) シートベルト着用を習慣づけるために
- (17) シートベルトの広報と正しい着用効果の指導と正しい着用方法の指導強化
- (18) 街頭指導所の開設による指導の徹底
- (19) 着用の「モデル事業所」及び「モデル地域」を中心とした地域ぐるみ着用運動の推進
- (20) 飲酒運転の絶対禁止
- (21) 飲酒運転などの無謀運転による事故を絶滅するための飲酒運転の徹底
- (22) 飲酒運転の徹底
- (23) 飲酒運転の徹底
- (24) 飲酒運転の徹底
- (25) 飲酒運転の徹底
- (26) 飲酒運転の徹底
- (27) 飲酒運転の徹底
- (28) 飲酒運転の徹底
- (29) 飲酒運転の徹底
- (30) 飲酒運転の徹底

安全のため 日本国内を走っている車の中には、原付車を含めると約六、二〇〇万台、運転免許許人口も間もなく五、〇〇〇万人に達するとしてい

このように大量交通時代であり、ある程度の交通事故は避けられないと悲観的な見方をする人もいます。しかし、交通事故は人災です。

交通事故の危険性は誰にもある

山梨県交通安全協会 専務理事 塩川光男



これは今までの安全運転教育にも問題があったと思

「交通ルールを守りましょう」「無謀運転はしないように」「思いやりのある運転をしましょう」などと主として事故と違反を結びつけて強調してきたのが、大多数の運転者は、自分が事故とは関係がない、一部悪

仕方が全く違います。いわゆる潜在している危険性の予知能力が欠けています。これがいわゆる過失です。当然予知すべきものを予知しないための過失です。予知能力があると同じ注意を全くなくすことはできません。ただ、いかんにかしてその量を減らすか、ということとはできると思

一般的に、交通事故が発生した場合は、警察での取り調べて処理されていますが、真の原因はどこに過失があったか、ということが重要で、認知、判断、操作の誤りがどこで発生したかというところを考慮する必要があります。自分は安全運転をしている。交通ルールは必ず守っている。だから交通事故は起こらない、という考えは問題があると思

「頭脳運転法」という小冊子を配布していますが、このテキストはドライバーに不注意の量をいかにかして少なくしてもらおうかというところを中心とめられたものです。交通ルールを守ることは当然ですが、さらに一歩を進めて交通事故を起さないためには、事故になる背景を十分理解してもらい、先を読み、打つ手を考えるという読みの深い運転をしてもらうためのものです。

「思いやり」のある交通行動と「ゆとり」「ゆずりあい」運転の励行

ルール違反をなくすための声かけ、あいさつ運動の励行

指導取締りの強化

交通マナーとモラルの向上を図るために

一 交通六悪の追放

(飲酒運転、無免許運転、最高速度違反、はみだし禁止違反、歩行者妨害、信号無視)

二 街頭監視と保護誘導活動の強化

三 暴走族の監視と取締りの強化

四 不正改造車等整備不良車及び「無車検」「無保険」車両等の取締りの強化

による事故を絶滅するため

一 飲酒運転の徹底

二 酒類提供業者の協力による飲酒運転の抑止

三 家庭、地域、職場で飲酒運転をしない話し合いの推進

四 地域ぐるみで飲酒運転など無謀運転をさせない気運の醸成

交通安全教育と広報等の推進

正しい交通ルールとマナーを身につけるために

一 運転者対策の推進

(1) 着用の向上を図るために、運転者、安全運転管理員等に対する各種講習会を実施

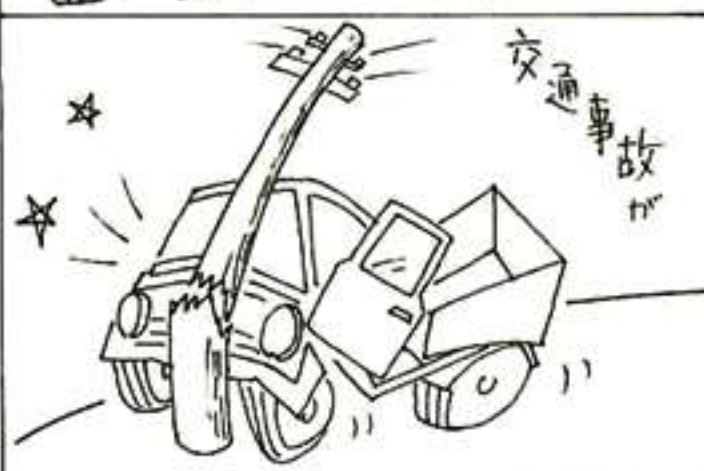
(2) 地域、職場、学校、家庭が一体となって暴走族追放の気運を盛り上げる

(3) 若年運転者に対する運転者教育、指導の強化

(4) 最高速度違反などによる



### おんせん-案.しお



「不注意運転」  
たとは、ある調査で、  
酒酔い運転以外で死亡事故  
を起した一〇三人の運転  
手の事故直前の心身の状態  
を質問したところ、「その  
とき考えごとをしていた」

「不注意運転」  
たとは、ある調査で、  
酒酔い運転以外で死亡事故  
を起した一〇三人の運転  
手の事故直前の心身の状態  
を質問したところ、「その  
とき考えごとをしていた」

「不注意運転」  
たとは、ある調査で、  
酒酔い運転以外で死亡事故  
を起した一〇三人の運転  
手の事故直前の心身の状態  
を質問したところ、「その  
とき考えごとをしていた」

「不注意運転」  
たとは、ある調査で、  
酒酔い運転以外で死亡事故  
を起した一〇三人の運転  
手の事故直前の心身の状態  
を質問したところ、「その  
とき考えごとをしていた」

「不注意運転」  
たとは、ある調査で、  
酒酔い運転以外で死亡事故  
を起した一〇三人の運転  
手の事故直前の心身の状態  
を質問したところ、「その  
とき考えごとをしていた」

一、はじめに  
現代社会では自動車は日  
常生活に不可欠のものにな  
っているが、これに伴って  
自動車事故の増加もまた大  
きな社会問題になっている。  
筆者も約二十五年來自家用  
車の運転を続けており、毎  
日自動車事故の危険にさら  
されながら生活しているの  
で、自分の専門である精神  
医学の立場から自動車事故  
の原因や対策について日々  
考えていることを述べて  
みたい。

二、自動車事故の人的  
要因  
自動車事故の原因として  
は、ドライバーに關係した  
要因だけでなく、道路、自  
動車台数など社会的要因の  
関与が大きい。しかし、こ  
こでは精神医学に關係が深  
い人的要因について考え  
ることにする。

①ドライバーの性格、身  
体疾患、精神障害など持続  
的なる要因  
②運転時の心身のコンデ  
ーション—「ねむけ、疲労、  
放心、不注意、感情不安定  
など、に大別できよう。

運転時の心身の状態は、  
事故に直接に關係するもつ  
とも重要な要因で、注意の  
欠如(不注意)、感情の不安  
定さなどがとくに問題にな  
る。

③心身の不調・病氣  
気分がゆううつなときには  
注意の集中度・持続力が低  
下し、そのうえ反射的動作  
も鈍くなる。こういったた  
う状態とは反対の躁状態の  
ときには、気分が高揚し、  
気が大きくなるので、運転  
が粗雑になって事故を起し  
やすい。

④アルコールと薬物  
飲酒中の運転、いわゆる酒  
気おび運転、酩酊運転など  
は論外であるが、「ふつか  
酔い」時の運転は注意欠如  
の状態になっているとき、あ  
るいは運転直前にいやなこ  
とがあったときなど、さま  
ざまであらう。こういった  
ときに、他車に追い越され  
たり、クラクションを鳴らさ  
れたりすると、ついカッた  
りして無理な運転をするこ  
とが少なくない。

⑤「感情不安定と事故」  
運転のさいに、不機嫌で  
気分がいらいらしているこ  
ろには、運転にたいする注  
意が十分にならないほか、他  
人に対する配慮や、安全  
運転に必要な互譲の精神が  
少なくなり、無理・無謀な  
運転をして事故を起しやす  
い。約束の時刻に遅れま  
いとあせって運転している  
ときも同様である。いら  
いら気分の原因は、家庭や職  
場などに持続的な欲求不満  
があつてノイローゼ(神経  
症)になっているとき、あ  
るいは運転直前にいやなこ  
とがあったときなど、さま  
ざまであらう。こういった  
ときに、他車に追い越され  
たり、クラクションを鳴らさ  
れたりすると、ついカッた  
りして無理な運転をするこ  
とが少なくない。

⑥「ドライバーの性格」  
車の運転をみればそのド  
ライバーの性格がわかると  
いわれる。事故につながる  
やすい性格としては、気分  
が変りやすく、すぐいら  
いらし、持続力・忍耐性に  
欠ける人(気分易変性性格)、  
軽率でせっかちな人(軽佻  
性格)、短気でカッとしやす  
い人(短気性格)などがある。

⑦「事故を防ぐためのド  
ライバーの心得」  
ドライバーは自分  
の生き方と同じような運転  
をする」と述べている。  
事故を防ぐには、筆者がこ  
こに挙げたような諸問題にた  
えず配慮をおこなうことが  
重要である。

## ドライバーの精神医学

東北大学教授 大熊輝雄

午後〇時—一時、午後三時—  
四時ごろにねむけが起こ  
りやすく、運転事故だけ  
なく工場の作業ミスなども  
この時間帯に多い。午前  
午後のコーヒープレイクや  
子どもの「おやつ」の習慣  
は、ねむけを防止するため  
の生活の知恵であるといえ  
よう。

夜間には、午前二—四時  
ごろにねむけが強くなり、  
心身の機能も最低になる。  
ある高速道路での事故発生  
時刻を調査したところ、午  
前二—四時が全事故の三三  
パーセントを占め、午前〇  
—八時の事故は全体の七〇  
パーセントを占めている。  
ねむけの発生には、この  
ような生体リズムの問題だ  
けでなく、運転環境の影響  
も大きい。たとえば夜間に  
高速道路を一人で運転して  
いるときは、エンジンの単  
調な響き以外にはあまり感  
覚刺激がないので、いわゆ  
る感覚遮断の状態になり、  
ねむけ、放心状態、ときに  
は幻覚が現れる。したがっ  
て夜間の高速運転のさいに  
は、同乗者を乗せて会話を  
する、カーラジオを聞く、  
自分で歌を歌う、チューイ  
ンガムを吸む、ときどき車  
をとめ車外に出て気分を転  
換するなどの工夫をならぬ  
よう注意する必要がある。  
コーヒーなどの刺激性飲  
料も、二杯以上飲めばねむ  
けをある程度減らせること  
が実験的にも証明されてい  
る。しかし、ねむけを防ぐ  
最善の方法は、たとえ短時  
間でも(少なくとも三〇分  
くらい)仮眠をとることで

あり、ねむけを除くには  
「眠る」以外はないといっ  
ても過言でない。  
②他のことを考える・放  
心状態—運転中にいつの  
まにか他のことを考えてい  
て、はたとわねに返ること  
は誰でも経験すること  
である。しかし、家庭や職場  
に心配事があるときには、  
ついそのことが頭に浮かぶ  
ことが多い。放心状態は、  
心身ともに疲労しているこ  
ろに起こりやすいが、長時  
間のドライブの終わる間際  
などほっとして緊張がゆる  
んだときに起こることが多  
い。

③心身の不調・病氣  
気分がゆううつなときには  
注意の集中度・持続力が低  
下し、そのうえ反射的動作  
も鈍くなる。こういったた  
う状態とは反対の躁状態の  
ときには、気分が高揚し、  
気が大きくなるので、運転  
が粗雑になって事故を起し  
やすい。

④アルコールと薬物  
飲酒中の運転、いわゆる酒  
気おび運転、酩酊運転など  
は論外であるが、「ふつか  
酔い」時の運転は注意欠如  
の状態になっているとき、あ  
るいは運転直前にいやなこ  
とがあったときなど、さま  
ざまであらう。こういった  
ときに、他車に追い越され  
たり、クラクションを鳴らさ  
れたりすると、ついカッた  
りして無理な運転をするこ  
とが少なくない。

⑤「感情不安定と事故」  
運転のさいに、不機嫌で  
気分がいらいらしているこ  
ろには、運転にたいする注  
意が十分にならないほか、他  
人に対する配慮や、安全  
運転に必要な互譲の精神が  
少なくなり、無理・無謀な  
運転をして事故を起しやす  
い。約束の時刻に遅れま  
いとあせって運転している  
ときも同様である。いら  
いら気分の原因は、家庭や職  
場などに持続的な欲求不満  
があつてノイローゼ(神経  
症)になっているとき、あ  
るいは運転直前にいやなこ  
とがあったときなど、さま  
ざまであらう。こういった  
ときに、他車に追い越され  
たり、クラクションを鳴らさ  
れたりすると、ついカッた  
りして無理な運転をするこ  
とが少なくない。

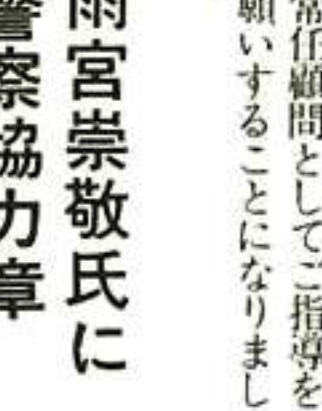
⑥「ドライバーの性格」  
車の運転をみればそのド  
ライバーの性格がわかると  
いわれる。事故につながる  
やすい性格としては、気分  
が変りやすく、すぐいら  
いらし、持続力・忍耐性に  
欠ける人(気分易変性性格)、  
軽率でせっかちな人(軽佻  
性格)、短気でカッとしやす  
い人(短気性格)などがある。

県安協常任顧問  
に古川定昭氏



古川本部長は、当協会の  
常任顧問としてご指導を  
お願いすることになりました。

雨宮崇敬氏に  
警察協力章



警察庁長官から、警察活  
動に協力し、多くの功績を  
あげた人に贈られる「警察  
協力章」の伝達式が、七月  
十二日、県警察本部長室で  
衛生法調査官から古川定  
昭氏に就任されました。

七歳)に伝達されました。  
雨宮氏は、昭和二十六年  
に石和安協花鳥分会長とな  
り、同協会の副会長二期、県  
安協評議員二期を歴任し、  
昭和五十二年二月石和安協  
会長に就任し、さらに昭  
和五十八年八月県安協副会  
長に就任しました。

その間、多年にわたって  
交通安全活動に積極的に協  
力して、交通安全のために  
多くの成果をあげられた功  
労が高く評価され受賞した  
ものです。

性格(爆発性格)みえつ  
ぱりで自己中心的で子ども  
っぽく性格(自)顕示性、  
他人にたいする思いやりの  
乏しい人(情性欠如)など  
がある。

これにたいして、神経質  
で凡張面な人、他人にたい  
する思いやりのある人、慎  
重で忍耐強い人などは事故  
を起しにくい。かつて筆  
者は無事故無違反の優良タ  
クシードライバー数十人に  
面接したことがあるが、大  
多数は自他ともに「凡張面」  
とみとめられる人たちがあ  
つた。

### 新規購入 映画の紹介

山梨県交通安全協会では、  
新しく次の映画を購入しま  
した。無料でお貸しいたし  
ます。ご活用ください。

一 歩行者と交通事故  
16ミリ、カラー、19分  
子供、老人、母親向  
交通事故死亡事故の大半は、  
歩行者や自転車利用者が注  
意すれば防ぐことができる  
と述べられています。

二 お年寄りと車社会  
16ミリ、カラー、20分  
高齢者向  
お年寄りは、目まぐるし  
く変わる、ぐるま社会に  
適応できず交通事故で亡く  
なる者が後を絶たせません。  
この映画は、お年寄りの  
交通事故を科学的に分析研

究し、交通安全を守る基本  
的ルールやコツをわかり易  
く解説して、お年寄りが自  
ら安全を考え行動する能力  
を身につけることの重要性  
を教えているものです。

三 バイクの  
頭脳的な乗り方  
16ミリ、カラー、28分  
一般、運転者向  
この映画は、最も多く起  
きているバイクの交通事故  
例を、実際に再現し、ライ  
ダー自身が交通状況・道路  
状況に潜む危険を読み、そ  
の危険を避けるためには、  
どのような運転をしたらよ  
いか具体的に分析し、事故



暴走追放ポスター

第27回山梨県中学生  
交通安全弁論大会  
10月24日に開く

県交通安全協会、NHK  
甲府放送局、交通山梨新聞  
社主催の「第26回山梨県中  
学生交通安全弁論大会」は、  
十月二十四日(水)午前十  
時から、甲府市飯田三丁目  
NHK甲府放送局第一スタ  
ジオで開催されます。

この大会は、交通安全思  
想を高め、交通事故を防止  
するために開催されますが、  
大会には秋の全国交通安全  
運動の機会に、各警察署単  
位に開催される地区予選大  
会で選抜された選手が出場  
して弁論を競います。



ことし上半期の 県内交通事故

交通死者、大幅に減少 減少率は全国第6位

昭和五十八年中の全国の交通事故は、件数、死者、傷者ともに大幅に増加しましたが、ことしにはいり沈静の傾向となり、本年上半期をみると、いずれも減少を示しています。



シートベルトを着用しましょう

交通事故発生状況表(昭和59年6月末)

Table with columns for accident types (e.g., total, death, injury), years (59, 58), and ratios. It provides a detailed breakdown of traffic accidents in the region.

死者の異常な増加に対応した適切な安全対策が功を奏し、とくに歩行中、自転車乗用中の死者が減少したことがあげられますが、歩行者のマナーの向上とドライバーの自覚が寄与したものとみられます。

シートベルトの体験装置

県警で導入

県警では、このほど「シートベルト体験装置」を導入。実際の交通事故と同じシチュエーションを体験して、シートベルト着用的重要性を認識してもらうことにより、成果が期待されています。

転座部分を想定した台車(幅一・三メートル、長さ三・二メートル)を傾斜八度のレール上を滑らせ、四メートルの所で車止めにより衝突させる仕組みで、この時五キロで衝突したものと同一の衝撃力があります。

県警では、この装置を八田村所在の運転免許課に設置し、免許更新者、免許試験受験者等に体験してもらい、シートベルト着用を促すことを行っています。

真剣に技を競いました。大会には、各地区大会の優勝者十六校十七チーム、選手六十八名が参加し、まず、交通規則、道路標識、自転車の安全な乗り方の常識などの学科テストに取り組み、続いて、自転車の正しい乗り方を競う安全走行テストする技能走行を行いました。

高根東小が10連勝

交通安全子ども自転車大会

県警本部と県交通安全協会主催の第十五回交通安全子ども自転車大会が、八日、三日の両日、東京コマ旅行会館と東京国際貿易センターで開催された。大会には、小学校児童八百名、保護者八百名、観客二千名が参加した。

この大会は、小学校児童に対する自転車の安全教育の効果を高めるため、競技を通じて交通安全についての興味と関心を高め、交通知識を身につけさせ、この習慣化を図って交通事故を防止することを目的として行われたものです。

大会の結果は、次のとおりで、高根東小学校チームが十連勝の優勝をかき取り、八日、三日の両日、東京コマ旅行会館と東京国際貿易センターで開催された。大会には、小学校児童八百名、保護者八百名、観客二千名が参加した。

この一連の私の違反歴を顧みようと、第一に私の身勝手さが原因していると思えます。といひます。この時、人間は「仏や神によって生かされている」と



バランスの転換テストにとりくむ選手

酒酔い運転のはて

会社員 41歳

その日は、ただ立っただけで、汗ばむような蒸し暑い日でした。一日の仕事も無事終わり、快い疲労と仕事に対する充実感に満ち、同僚数人とかねて知り合いのスナックへと車を走らせました。

私にはここに至るまでの間、二年おきぐらいに酒気帯び運転で検挙されてきました。いよいよ常習犯でありました。判決の日、裁判長は私に向かかって、常習犯であり再犯性も高いが家族や会社のこととを考慮し、また二度とハンドルを握らないと誓った私の言葉を聞き入れ、温情溢れる判決を下してくださいました。

山梨県交通安全協会会員の ための災害共済のお奨め 万人は一人のために一人は万人のために

提供団体 山梨県交通安全協会 引受会社 協栄生命 甲府市丸の内三丁目20-3 TEL (0552) 22-4836(日)



### 地区だより

#### 巻込み防止ミラーを設置

(甲府)

甲府警察管内における昭和五十八年中の交差点事故は、全体の一％を占め、うち左折事故は四九件で大型車による左折時の巻込みによる死亡事故が二件発生しています。

とくに最近の傾向として、市周辺観光地への大型観光バスの大量流入や六十一一年開催の「かいじり国体」に向け



甲府市内の巻込み防止ミラー

ての駅ビルその他施設の増設に伴う大型工事車両の増加により、今後も同種の事故の発生が懸念されます。そこで、甲府署では安協

の協力をえて、大型車通行の多い一部の市中心部交差点の左側端に「巻込み防止ミラー」を設置しました。大型車の左側を並進する

#### シートベルト着用推進月間

(南甲府)

県警察では、関係機関、団体と協力して、交通事故による被害を防止、減少し、安全意識を向上するため、七月一日から八月三十一日までの二ヶ月間「シートベルト着用推進月間」を実施しました。南甲府署では、この期間中、交通指導員らが街頭で着用を指導しまし



街頭指導所でベルト着用を指導する (南甲府)

### 交通安全

#### 年間スローガンとポスターデザイン募集

全日本交通安全協会では次の要領により、昭和六十年使用の交通安全年間スローガンとポスターデザインを募集します。

○スローガン募集  
〔募集期間〕  
昭和五十九年八月十日(金)から秋の全国交通安全運動最終日の九月三十日(日)まで。

〔募集部門〕  
○一般からの募集  
○運転者(同乗者を含む)に対するもの  
○重点テーマ  
▽シートベルトの着用  
▽安全速度の順守  
▽飲酒運転の防止  
▽二輪車(オートバイ、バイク)の安全運転  
○歩行者・自転車乗用者に対するもの  
○重点テーマ  
▽家庭の中からの交通安全  
▽安全な横断の仕方  
▽自転車の安全な乗り方  
○子どもからの募集  
○子ども自身に呼びかけるもの  
〔応募方法〕  
○一般：年齢制限はない。

普通乗用車に二部門、一スローガン。住所、氏名、年齢を明記し、未発表のものに限る。枚数に制限はない。

職業を明記し、未発表のものに限る。枚数に制限はない。

なく、乗用車の厚紙を用いて送付可。地域、職場ごとの応募を奨励する。

昭和五十九年十一月下旬、第二十五回交通安全国民運動中央大会の席上で行う。

テ・ヨコ型自由、いずれもパネルまたは厚紙には、レタリング、イラストレーション、写真のデザイン化も自由。ポスターにするときは、主催者名を入れるので作品に適當なスペースを残すこと。入賞作品の版權

は主催者に属し、ポスター作成のさい加筆修正することがある。応募作品は返却しない。

〔応募方法〕  
作品は一人何点でもよく多数の共同作品でも可。創作、未発表のものに限る。住所、氏名、年齢、職業(学校名)を明記した応募票を添付。毎日新聞東京本社事業部「交通安全ポスター」係へ搬入または送付する。



二輪車大会で技能走行を競う

#### 安全に63人が技競う

##### 二輪車運転山梨県大会

県交通安全協会、県二輪車安全運転推進委員会主催の第十四回二輪車安全運転山梨県大会は、六月二十四日、県運転免許センターで開かれ、女性クラス(五〇cc以下)、高校生クラス(一五五cc以下)、一般Aクラス(四〇〇cc以下)、一般Bクラス(四〇〇ccをこえるもの)の四クラスに六十三人の選手が参加し熱戦が繰りひろげられました。

この大会は、二輪車の安全運転技術と交通徳の向上を図って、交通事故を防止するために、県警察本部交通部の指導と県二輪車安全普及協会の協賛を得て実施しましたが、全国大会で過去三年間、団体と個人の優勝をはじめ上位入賞の実績もあって、二輪ライダーや関係者の関心は高く、大会は盛り上がりを見せました。

選手は、各クラスに分かれて、基本となる法規履行走行と応用的な運転技能をテストする技能走行に技を競いました。

入賞者は次のとおりです。各クラスの優勝者等四名が、八月十八日(土)十九日(日)の二日間、三重県鈴鹿サーキットで行われた全国大会に本県代表選手として出場し善戦しました。

- 女性クラス  
〔優勝〕内藤陽子(石和)
- 〔準優勝〕穴水あけみ(竜王)
- 〔望月美紀(甲府)〕
- 高校生クラス  
〔優勝〕三沢哲也(石和)
- 〔準優勝〕矢野徳久(甲府)
- 飯田匡史(白根)
- 一般Aクラス  
〔優勝〕高野淳一(甲府)
- 〔準優勝〕金丸真人(甲西)
- 吉川晃司(甲府)
- 一般Bクラス  
〔優勝〕植原信一(御坂)
- 〔準優勝〕石川宏次(甲府)
- 吉沢和仁(甲府)

#### 安全運転管理者等講習が始まります

安全運転管理者・副安全運転管理者の本年度講習が次のとおり行われますのでお知らせします。

講習区分(学級)	対象者	月日(曜日)	場所	予定人数	講習区分(学級)	対象者	月日(曜日)	場所	予定人数
新任管理者	昭和58年度講習で除任された安全運転管理者	9月5日(日)	運転免許課3階学級試験場	219人	一般学級	甲府市、小笠原管内の特科学校に属さない事業者の安全運転管理者	10月3日(日)	運転免許課3階学級試験場	280人
官公署学級	官公署および公社会などの事業者の安全運転管理者	9月12日(日)	同上	243人	一般学級	甲府市、小笠原管内の特科学校に属さない事業者の安全運転管理者	10月17日(日)	同上	256人
マイクロ学級	車両台数5台以下でマイクロバスを保有する事業者の安全運転管理者	9月19日(日)	同上	273人	一般学級	甲府市、小笠原管内の特科学校に属さない事業者の安全運転管理者	10月22日(日)	非向習寮	121人
副安全運転管理者	副安全運転管理者	9月26日(日)	同上	174人	一般学級	甲府市、小笠原管内の特科学校に属さない事業者の安全運転管理者	10月30日(日)	増穂町民会館	137人
42講習学級	各講習終了後受講できなかった安全運転管理者	12月5日(日)	同上		一般学級	富士吉田管内の特科学校に属さない事業者の安全運転管理者	11月8日(日)	富士吉田市民会館	185人
					一般学級	甲府市、小笠原管内の特科学校に属さない事業者の安全運転管理者	11月14日(日)	塩山市民会館	164人
					一般学級	甲府市、小笠原管内の特科学校に属さない事業者の安全運転管理者	11月21日(日)	大月市民会館	159人

○ 県下一の  
広いコースで、早い上達を!

○ 伝統ある当校で  
1日も早く免許証をあなたの手へ

財団法人  
山梨県交通安全協会経営

## 公認 山梨自動車学校

八田村野牛島1828 山梨県運転免許センター内  
TEL 05528-5-0752